

Nipol 2570X5

Nipol 2570X5は、最も標準的なカルボキシル変性SBRラテックスです。カルボキシル基が導入してありますので通常の硫黄による加硫のほかに亜鉛華、アルミン酸ソーダのような金属酸化物による架橋、メチロール化メラミンなどによる樹脂架橋も可能です。

カルボキシル基による繊維との接着性が優れているとともに極性基による耐油性の向上も認められ、ゴム弾性を持った接着剤として幅広い用途に用いられています。

特に不織布、顔料塗染バインダーとして、またラテックス含浸紙用として好評を得ています。

1. Nipol 2570X5の代表的性質

全 固 形 分	41 %
pH	6.5
ラテックス粘度	20 mPa·s
ラテックス比重	1.00
平均粒子径	0.10 μm
表面張力	40 mN/m

2. Nipol 2570X5の特徴

(1) 繊維に対する接着力が優れている。

(2) メチロール化メラミン、金属酸化物等での架橋効果が著しく大きく、かつ比較的柔軟。

(3) 粒子径が小さく、適度の安定性を持っているため、含浸、ヒーター添加等繊維処理時の操作性が優れている。

3. Nipol 2570X5の諸物性

(1) 安定性

① 機械的安定性 (マロン法・10kg荷重×5分)

発生凝固物 0.5%

② 化学的安定性

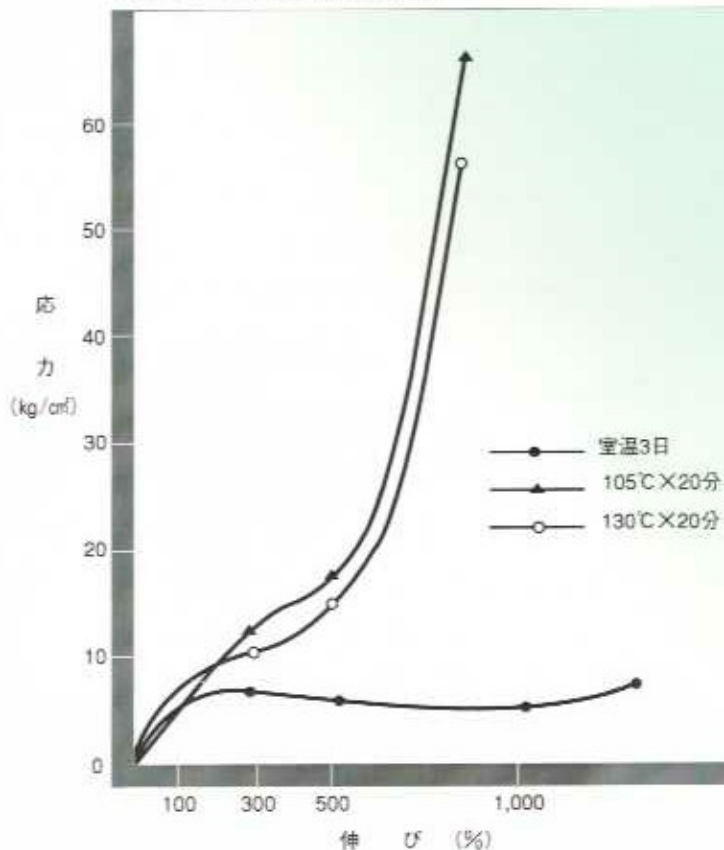
- ・ 対pH 28%アンモニア水添加の場合、pH12までは安定。
0.5mole/m³酢酸水溶液でpHを下

げる場合、pH3までは安定。

- ・ 対NaCl ラテックス100gに対し、1モルNaCl水溶液14ccで凝固物発生。
- ・ 対CaCl₂ 0.1モルCaCl₂水溶液を数滴添加で凝固物発生。

(2) Nipol 2570X5の皮膜特性 (第1図～第2図)

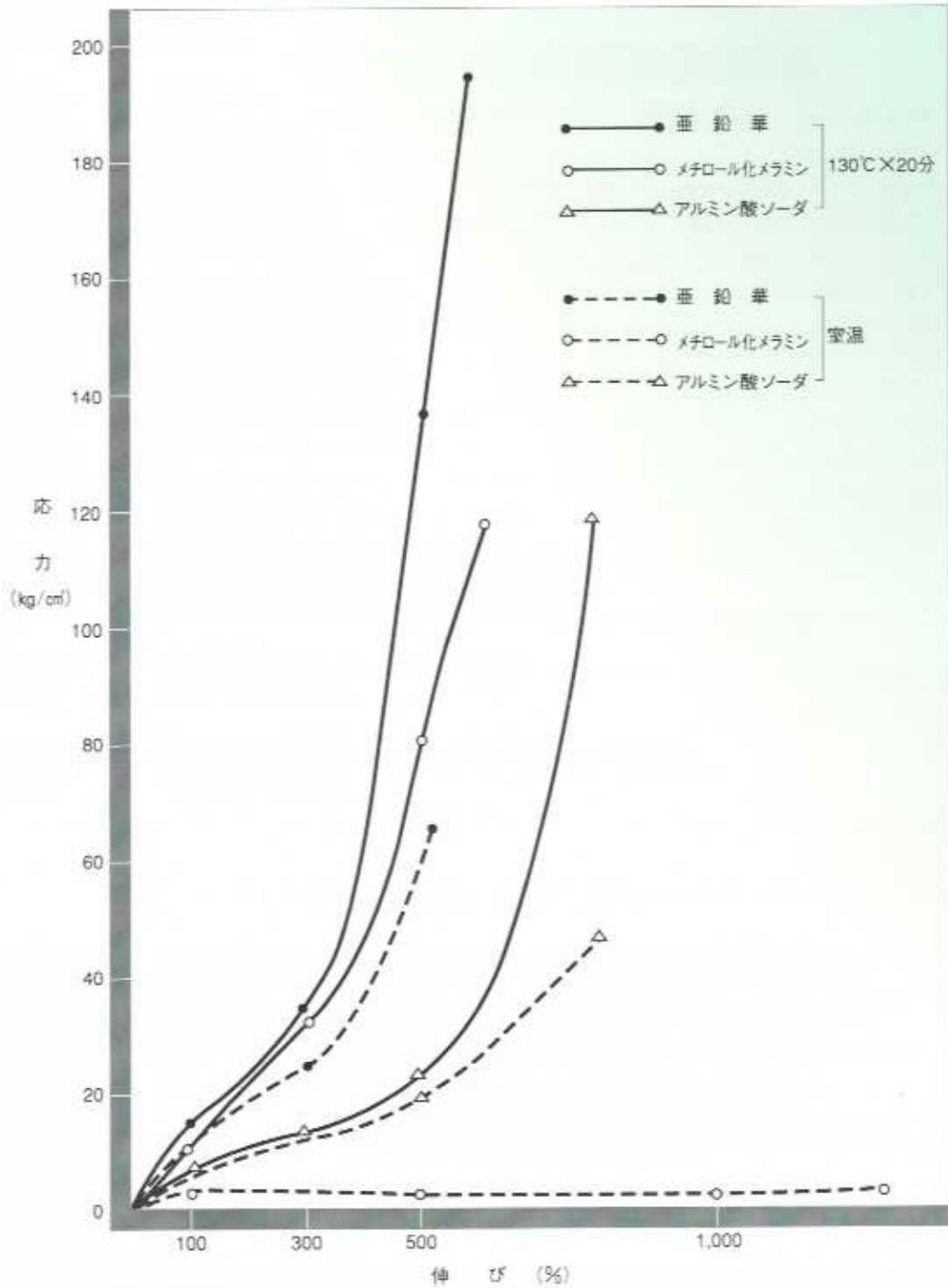
■ 第1図 非加硫乾燥皮膜の物性



試験条件

厚さ 0.4mm
引張速度 300mm/分

■第2図 特殊架橋乾燥皮膜の物性



試験条件

厚さ 0.4mm
引張速度 300mm/分

配合 (乾燥重量部)

	亜鉛華架橋	アルミン酸ソーダ架橋	メラミン架橋
Nipol2570X5	100	100	100
亜鉛華	5	—	—
アルミン酸ソーダ	—	0.5	—
界面活性剤 (エマルゲン931)	—	2	—
メチロール化メラミン (M-3)	—	—	5
触媒 (アクセラレーターACX)	—	—	0.5

(3) Nipol 2570X5を用いた含浸紙の物性 (第1表)

■第1表 含浸紙の物性

試験項目 ラテックス	付着量 (%)	耐折強度 (回)	乾燥時		湿潤時	
			強度(kg)	伸び(%)	強度(kg)	伸び(%)
原紙	—	12	6.0	2.0	0.2	2.0
Nipol 2570X5	25.3	2,100	14.7	7.6	4.1	8.0

試験条件

原紙 コットンリスター、厚さ0.92mm、乾抄密度0.62g/cm²
 含浸液濃度 15%
 熱処理条件 130℃×10分
 引張速度 乾時50mm/分、湿時20mm/分(抄紙方向)
 サンプル幅 15mm
 耐折試験 荷重1kg

(4) Nipol 2570X5を用いたビーター添加紙の物性 (第2表)

■第2表 ビーター添加紙の物性(直接法)

試験項目 ラテックス	耐折強度 (回)	乾燥時		湿潤時		サイズ度 (秒)
		強度(kg/cm)	伸び(%)	強度(kg/cm)	伸び(%)	
ラテックスなし	8	3.9	3.9	0.2	2.0	<1
Nipol 2570X5	430	5.0	5.4	0.8	6.8	34

試験条件

パルプ 未過クラフト
 ラテックス 20部添加(パルプ100部に対し)
 定着剤 硫酸バンド(AI、SO₂)、2.5%溶液
 シート重量 95g/m²
 シート厚さ 0.13mm
 熱処理 130℃×10分

(5) Nipol 2570X5を用いた不織布の物性 (第3表)

■第3表 不織布の物性

試験項目	ラテックス	Nipol 2570X5		Nipol LX811
		—	メラミン配合*	メラミン配合*
引張強さ (kg/cm)				
乾燥時		4.4	5.0	4.7
湿潤時 (水浸漬24時間後)		1.9	2.4	4.2
溶媒浸漬時 (パークロロエチレン浸漬10分後)		0.1	0.9	1.9
乾燥時の伸び (%)		31	28	23
耐変色性 (反射率%)				
老化前		72	74	77
熟老化100℃×24時間		72	71	75
フェードメーター20SFH		60	60	77

(注) Nipol LX811はアクリレート系ラテックス

試験条件

使用ウェブ SPナイロン (2.2d 1 $\frac{1}{2}$ staple) 60%
BRTアセテート (3.0d 1 $\frac{1}{2}$ staple) 40%
50g/m²
作製条件 *M-3 5部, ACX0.5部配合。付着量約70%
乾燥93℃ 熱処理154℃×3分

本カタログに記載のデータは当社研究所で測定した実測値であって保証値ではありません。またニポールラテックスを使用した製品の他社特許との特許関係については当社は一切の責任を負いません。

- 警告** ◆弊社ラテックス製品を食品添加物、内服薬として使用しないでください。
- !** ◆食品に直接接触する用途、皮膚に直接接触する用途及びその他特殊な用途に使用する場合は事前にご相談ください。

ラテックスの取扱いの詳細については弊社発行の製品安全データシート（MSDS）をご参照ください。

ラテックスの取扱い上の注意事項

1. 取扱い時は保護具（眼鏡、手袋、安全靴、作業衣等）を着用してください。
ラテックスが眼に入ると、炎症、かゆみ、角膜の損傷を起こすことがあります。
ラテックスが付着すると炎症やかゆみを起こすことがあります。
2. 取扱い時は換気設備、手洗い、洗眼設備は必ず設けてください。
①ラテックスは水性なので常温では揮発性はほとんどありませんが長時間の作業で気分が悪くなった場合は直ちに空気の新鮮な場所へ移動してください。
②皮膚に付着した場合や眼に入った場合は水で洗い流してください。
③誤って飲み込んだ場合は清浄な水で口の中を洗浄後直ちに吐き出し医師の診察を受けてください。
3. ラテックスを河川等の水路へ投棄したり流出させることはしないでください。
河川等への廃棄、流出は水質汚染の原因となり魚類などの動植物、飲料水などへの影響があります。
万一公共水域へ流出させてしまった場合は監督官庁への連絡等必要な措置をしてください。
4. 特別な取扱いをする場合には安全対策を実施の上行ってください。
注意事項は通常の取扱いを対象として記載してありますので特別な取扱いをする場合はご使用者各位の責任において安全対策を実施の上ご使用ください。

ラテックスの保管上の注意事項

1. 容器は密閉して保管してください。
ラテックスを空気に触れた状態で保管すると表面に皮膜やクリームが生成したり、菌類による腐敗を起こします。
2. ラテックスは5°C~30°Cで保管してください。
直射日光下での保管は温度上昇によって皮膜生成、粘度変化などを起こします。また凍結させると使用できなくなります。
3. 保管期間が長い場合は使用前に攪拌、ろ過してください。
比重の大きいラテックスは沈降し不均一になることがありますのでご使用前に均一に攪拌混合してください。
また万一保管中に凝固物、クリーム、皮膜が生成した場合にはろ過してください。
4. 容器は所定のものを使用してください。
弊社の容器以外の貯蔵容器を使用する場合は、耐蝕性のステンレス鋼、ガラス、樹脂ライニング製のものをご使用ください。

品質保証期間

納入後6ヶ月が製品の保証期間です。

日本ゼオン㈱のラテックス生産工場である川崎工場及び徳山工場は、JIS Z9902・ISO 9002（品質システムの国際品質保証規格）の登録取得をしています。

 **日本ゼオン株式会社**

ラテックス事業部

本 社 東京都千代田区丸の内2-6-1(古河総合ビル) 〒100 ☎03-3216-2343
大 阪 支 店 大阪市北区堂島浜2-1-29 (古河大阪ビル) 〒530 ☎06-348-8204
名古屋支店 名古屋市中区錦1-19-24 (名古屋第一ビル) 〒460 ☎052-231-8871